

働きやすさ、 アップデート。

平成28年⇒令和7年（令和8年）

数字で見る働きやすさの進化

全ての職員が個性と能力を最大限に発揮して生き生きと働き続けるために



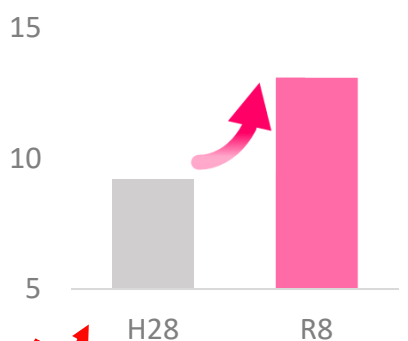
女性警察官比率

多様な人材が
活躍できる職場へ

H28
(2016年)

R8
(2026年)

9.2% → 13.1%



約 **1.42** 倍に増加

全警察署に女性用の休憩室・トイレ・シャワー室を整備し、働きやすい環境づくりや女性警察官が使いやすい軽量装備品の配備を行っています。女性の視点から業務に反映されるよう多様なポストに配置をしています。



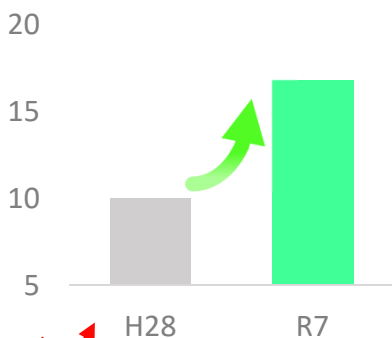
年次休暇取得日数

休みやすく
メリハリをつけて働く

H28
(2016年)

R7
(2025年)

10.0日 → 16.8日



約 **1.68** 倍に増加

京都府警察の年次休暇（有給）の取得日数は全国警察でトップクラスです。ほかにも、夏季特別休暇5日をはじめとする各種特別休暇など、「ONとOFFを切り替える」ための休暇が充実しています。



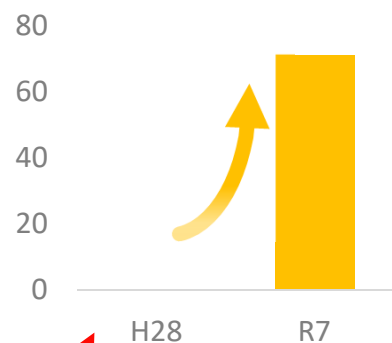
男性育児休業取得率

仕事と育児を両立できる
制度の充実

H28
(2016年)

R7
(2025年)

0.3% → 71.1%



70 ポイント以上増加

取得者の98%以上が2週間以上取得しており、配偶者出産休暇等特別休暇も併用で取得できます。「男性は仕事、女性は育児」という固定的な概念を廃止し、男性職員も積極的に育児に関わることを推奨しています。

変わったのは数字だけじゃない

全ての職員が活躍できる京都府警察の構築へ

女性職員の育児休業取得率は**100%**、そのうち1年以上取得している職員は**約70%**いるよ。復帰後も「スライド勤務」や一部の勤務時間を短縮できる「部分休業」など育児と両立できる制度も充実しているよ。



もっと知りたい
あなたへ
採用情報は
こちら



あなたが自分らしく働き続けられる未来へ、これからもアップデート